

# いずみニュースレター

令和5年5月発行 第25号

障害児者の地域の砦としてさらに発展することを願って

社会福祉法人いずみ理事

東京小児療育病院前院長 椎木俊秀

私事で恐縮ですが、この3月をもって東京小児療育病院を退職いたしました。当法人との関りは約12年前の東北大震災の前に故福岡前理事長から理事就任の要請を受けたことに始まります。当院の利用者さんがたくさん通われていたし、医療的ケアのある方を含め重症心身障害、肢体不自由、知的障害、発達障害の方々の支援を非常に困難な中でも積極的に続けられ、きちんと成果を出されている姿に感銘を受け、福岡さんの強い押しもあって平成23年3月22日に理事をお引き受けしました。

平成17年に肢体不自由の当事者と家族、親の会、関係者の方々が始められた事業をわずか18年でここまで成長させられたことは驚きというしかありません。その最も象徴的な成果の一つがまもなく開設する重症心身障害者向けのグループホームの立ち上げだと思います。心から感謝と称賛を捧げたいと思います。

重症心身障害者の方の終の棲家の問題は非常に大きな行政課題でもあります。東京都には児も併せて500名を超える施設入所待機者がおられるということです。入所施設を増やすということは非常に困難であるし、それだけで根本解決が図られるわけではありません。どうしてもグループホームが必要になると思います。入所施設とより家庭的に暮らせるグループホームのどちらでも選べる時代へと進んでいかなければなりません。当院でも数年前にプロジェクトチームを立ち上げて検討しましたが、現時点では採算面で実現不可能と判断し断念しました。そういう経験もしているので本当にすごいことを成し遂げられたと感心しています。貴法人は非常に力量のある職員の集団だと思います。重症心身障害者でもグループホームで暮らすことは可能であることを実証し、重症心身障害者用グループホームが拡大していく先駆けになる成果をぜひ出してくださることを期待しています。

4月より私の後任として国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科で診療部長を長年務められた佐々木征行先生が院長に就任されました。私は数年前から当院のさらなる発展のためには小児神経、学術研究の指導ができ、医師を集められる方に院長になっていただく必要があると考えていたので大きな責任を果たせて安堵しているところです。両施設の連携を引き続き継続させたいというご希望をいただいているため、貴法人の理事も私から佐々木新院長に交代となる予定です。

貴法人が障害児者の地域の砦としてさらに発展を続けられることを心から願っています。



## グループホームファウンテン地鎮祭を執り行いました

令和5年1月18日、今年の10月グループホームオープンに向けて、市内美住町2丁目の建設予定地内で地主様、法人理事、監事、担当職員、設計事務所、施工会社の関係者様ご出席のもと八坂神社の宮司様による地鎮祭が執り行われました。

当日は神前の盛砂に向かって、鎌(かま)や鍬(くわ)、鋤(すき)を使い、かけ声と共に鍬で砂山を掘る等の儀式を行い土地を守る神様にその土地を使用する許しを請い工事の安全を祈願しました。

現在、建築工事を含めグループホームオープンに向けて各種準備を着々と行っています。利用者様が気持ちよく利用できるグループホームを目指し法人全体で取り組んでいます。



グループホームファウンテンでは開設までの様子など各種情報をインスタグラムで発信しています。併せて、生活支援員(正職／パート)を募集しています。是非ページをフォローしていただき、多くの方々に知っていただけるようご協力をお願い致します。



# 職員アンケート

今回のいずみニュースレターは職員にアンケート形式で質問をしました。様々な視点、話などが集まりましたので、事業所ごとにまとめたものを皆さんにお届け致します。

あゆみの家 成人部

## Q.1 この利用者さんのここがすごい！

- ・大好きな人に一途な所
- ・手をつかわないで足だけでくつ下をぬぐ
- ・入浴中のバタ足
- ・階段の昇り降りができること

## Q.2 支援中のほっこりエピソードをどーぞ。

- ・職員に手をのばしてくれて、つかむとにっこり笑顔になってくれる。
- ・一人が笑い出すと、他の方も「なんで笑ってるのー？」とみんな笑い出す。

## Q.3 こんな支援が出来て良かったエピソードもどーぞ。

- ・保護者にいろいろ相談したら、いてくれて良かったと言われたこと。
- ・支援が終わりご利用者様の側を離れる時「ありがとう」とお話しただけの時。

## Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？

- ・ずっと福祉業界です。他の業界では働けないかも（福祉の仕事が楽しいので）

## Q.5 これって職業病かな？って事ありますか？

- ・夕食時に、食べやすい物があると「これ〇〇さん食べやすそうだな」と思う。
- ・腰痛
- ・腕を見ると血管を探したくなる。
- ・車椅子を見ると障害者かな？と思うようになった。
- ・インスタグラム等で障害者の情報を調べてしまう。



## ひまわり児童発達支援

### Q.1 この利用者さんのここがすごい！

- ・全員日々の成長がすごい。皆それぞれ素敵。
- ・入園して1，2ヶ月の成長、表情等の変化にはいつも驚く。

### Q.2 支援中のほっこりエピソードをどうぞ。

- ・お昼寝をしている子が夢を見ているのか笑顔で笑っている様子。
- ・どの場面でもかわいいとほっこりする。
- ・おならをしてもかわいい。
- ・相槌を打ってくれるとかわいい。
- ・同じおもちゃの取り合いもかわいい。

### Q.3 こんな支援ができて良かったもどうぞ。

- ・写真と制作を保護者の方に喜んでもらえた。
- ・なかなかお昼寝できない子にあれこれ試して、かわいい笑顔が見られた時
- ・成長を感じる（発語、体幹を鍛えられている事等）

### Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？

- ・笑顔が多い
- ・じっくり関わる事ができる

### Q.5 これって職業病かな？って事ありますか？

- ・歌を聞くと療育にとり入れられるかなと思ってしまう。
- ・街の季節のイベントの飾り付けや売っている物を見て療育に取り入れられるかと考える。
- ・童謡を口ずさんでしまう。

## ひまわり放課後等デイサービス

### Q.1 この利用者さんのここがすごい！

- ・利用者さんの記憶力！昔の話やトランプの神経衰弱。歌詞を完璧に覚えているところなど。
- ・学生の今から自立のことを考えている方がいること。
- ・スーパーに並ぶほとんど全ての野菜を知っていること。
- ・やる気がすごく積極的にアピールし活動に参加していること。
- ・言葉を発することが出来なくても表情などを通して伝える力があること。
- ・ラップ好きの利用者の希望でBGMを流すと即興でオリジナルラップを披露してくれたこと。
- ・トイレの際、「交換しますよ」と声をかけると腰を上げてくれる。車椅子にテーブルを付ける時に両手をあげてくれる。などお手伝いしてくれるところ。

### Q.2 支援中のほっこりエピソードをどうぞ。

- ・利用者の笑顔や笑い声が聞こえた時。例えば、送迎者の中で歌を歌ったら笑い声を立てたり、部屋の明かりをつけた時、けらけらと笑ったり、ぬいぐるみのあゆみちゃんを見つけて笑顔になったりなど。
- ・高学年生が年下の子のめんどろをみているところ。年下の子でかなり歩けるようになった子の様子をみて「すごく歩けるようになったね」と自分のことのように嬉しそうに話していたこと。
- ・公園で花見をしたところ、花よりも一緒にやったシャボン玉が楽しかった表情の女子達をみて癒された。

- ・子どもと目が合った時、ニヤッと笑い、遊びたい様子で近寄ってきてくれる。一緒に遊びたいと声や目線でアピールしてくれる。
  - ・子供達の笑顔や行動にいつも和ませてもらっています。
- 「〇〇さ〜ん」と私の名前を呼んで必要とされている時「かわいい〜」と思う。

### Q.3 こんな支援ができて良かったもど一ぞ。

- ・ミニコンサートを行い、利用者が手話やハンドベルで参加してくれたこと。プレッシャーを感じながらも立派にみんなの前でできたものを喜んでもらえた。
  - ・子供達の笑顔が溢れる時、「良い支援ができたな〜」と思う。
- 自分の考えた遊びでとても楽しそうに笑ってくれたこと。

### Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？

- ・周りの職員の方の助けやチームワークがとてもありがたく感じます。利用者さんの笑顔に癒されてほっこりすることも多く頑張れます。足腰は鍛えなければと思います。
- ・職員の皆さん、利用者さんの笑顔をつくるのが上手で早く一緒に楽しみたいと思えた。一人ひとりの情報等をきちんと知らないといけないし忙しいですが、やりがいの大きい仕事だと思います。そして楽しいです！

### Q.5 これって職業病かな？って事ありますか？

- ・どこに出掛けてもつい車椅子で利用しやすいかを確認してしまう。
- ・車椅子に乗っている方を見かけると困っていることはないかといつ見してしまう。
- ・街で車椅子を押している方を見かけると頑張りましょうとエールを送りたい気持ちになる。
- ・電車の中でつり革に掴まっている手をみて採血しやすそうか、推測しちゃうこと。



## ライフサポートつばさ

### Q.1 この利用者さんのここがすごい！

- ・利用者さんどうしの優しさ、気遣いがすごい。急いでいる方どうしが自然と通路を譲り合ったりされている。仲間がレクで失敗されたときなど、『もう一回いいよ』などと言ってフォローされる方や、落ち込んでいる仲間の背中をトントンして励ましているような方。鼻をかんでいる仲間のところにゴミ箱を運んで差し上げたりも。

### Q.2 支援中のほっこりエピソードをど一ぞ。

- ・新人の頃、わからない事があったり困ったりしている時に利用者さんから『大丈夫、大丈夫』って励ましてもらえた。今でも何か落としたり、忘れたり無くしたり・・・励ましてもらってます。
- ・支援中、利用者さんとほほえみ合っていた職員。お互いの笑顔にますます楽しくなってきたみたいで、2人で笑いが止まらなくなり、しまいには涙まで流していた。

### Q.3 こんな支援が出来て良かったエピソードもど一ぞ。

- ・利用者さんそれぞれ、独自の動き出すタイミングを持っている。今はやだけど後なら大丈夫とか、不意なすごいやる気とか。普段、こちらのペースでご誘導などしてしまうことも多いが、利用者さんのタイミングに沿った支援ができたときは嬉しい。

### Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？

- ・教職でした。相手の良い所も悪いところも見つけては、改善したがるのが先生。ありのままのお姿を『素敵ですね』って言えるこの業界のほうが自分は好き。



## あゆみの家幼児部

### Q.1この利用者さんのここがすごい！

- ・ I くん電車の知識がすごいです。
- ・ 通ってくる子どもたちの、1人ひとりの笑顔がキラキラしています。

### Q.2 支援中のほっこりエピソードをどーぞ。

- ・ 腕まくりしていると、腕にスリスリしてくる子がいて…可愛いです。
- ・ 「せんせい大好き」と言われたり表現されると、涙が出そうです。
- ・ お子さんが近づいて、ギューっとしてくれます。

### Q.3 こんな支援が出来て良かったエピソードもどーぞ。

- ・ 毎日、保育者といっしょに繰り返しながらしていたことを、お子さんが自分からひとりでできていたのを見つけたときは、震えるほど嬉しかったです。

### Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？

- ・ 前職では30～40人近い子どもたちを、1人で担当していましたが、今は1対1でお子さんのその日の様子に応じて寄り添いながら対応することもあります。難しいと思うところもありますが、とてもやりがいがあります。

### Q.5 これって職業病かな？って事ありますか？

- ・ 外出先で、車椅子トイレを探してしまうこと。



## ホームヘルプひだまり

### Q.1 この利用者さんのここがすごい！

- ・ オセロとか将棋とかすごく強い利用者さんがいたんですよ、まず勝てない。
- ・ コロナ禍での外出時、電車移動中にマスクをしてくれるようになった。
- ・ いつもと違う路線を使って移動すると「今日はいつもと違うね」とアイコンタクトを送ってくれる。
- ・ 好きなものを食べる時、唇の使い方がとても上手になる。
- ・ シャンプーの時、洗いやすいように頭を傾けてくれる。
- ・ ご自分の意思をしっかりと伝えられる事。
- ・ ○年○月○日は何曜日と聞くと正確に答えられる方がいました。
- ・ 支援中の会話や、遊びを覚えていて「あれやってよ。」と目で訴えてきてくれる。それにこたえたと喜んでくれる。伝える力がすごいと感じる。
- ・ 記憶力がいい利用者さんや、とても器用な利用者さんがいます。

### Q.2 支援中のほっこりエピソードをどーぞ。

- ・ 横に座ったりすると肩をもんでくれたりしてくれる利用者さんがいまして。
- ・ 駅のエレベーターで他の利用者の為に「開」ボタンを押してあげていた。
- ・ 小食な利用者さんが他の利用者さんと出かけるとモリモリ食べてくれる。
- ・ 同じ施設を利用している方同士で出かけた時に、喜んでいる姿を見るとほっこり。
- ・ 年に何回かある外出活動にヘルプで参加した時にその利用者さんが朝からとても楽しみにされていてとてもいい表情をされていました。
- ・ 恒例の利用者さんに昔の話をしてもらおうと、いつもより口数が多く楽しそうに話される。ほっこりする笑顔を見られた時。

- ・電車の中でとか隣り合った人に声をかけられ、利用者さんと元気よく返事を返せたとき。
- ・遊んでいたサンダルをお母さんに履かせていた。

### **Q.3 こんな支援ができて良かったもど一ぞ。**

- ・利用者さん数人とクリスマス会、役割を分担して楽しい一日を過ごせた。
- ・大雪の日や台風などの緊急時対応の時、出来る範囲ではあるが支援をしているときに仕事したかな？と。
- ・通所先の施設や他の事業所とうまく連携が取れて、利用者さんへの支援がうまく回り始めた時。
- ・利用者さんのやりたいことと、自分の声かけ、誘導のタイミングがあった時。
- ・発語が出来ない利用者さんと意思の疎通が取れた時。
- ・ヘルパーが休みで代わりに入った時に「来てくれてよかった」と言われた時。
- ・外出支援の最後に「時間を早く感じるから楽しかったよ」と言われた時。

### **Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？**

- ・利用者さんの反応がダイレクトに帰ってくるのでやりがいを感じる。が、自分のやれること、やるべきことの見極めがむずかしいところもあり、難しいと感じます。
- ・自分が成長できたと感じるし、世界観が広がった。
- ・あたたかい。

### **Q.5 これって職業病かな？って事ありますか？**

- ・プライベートの外出時にトイレや入り口の幅とか車椅子でいけるか？と確認しちゃいます。
- ・外出時に車椅子見かけることが多くなったなあ、って。
- ・相手の支援、動作、話し方等が気になり発言の裏を勘ぐってしまう。
- ・街中で車いすを見かけると利用者さんかな？と思うことがある。
- ・仕事以外での車椅子の方の動きなど気になることが多い。
- ・困っている人を見かけると声を掛けずにはいられない事。
- ・プライベートで歩いているときに見かけた自走している車イスの方の周辺の危険物等を探してしまう。

## トビラ

### Q.1 この利用者さんのここがすごい！

- ・常に新しいことにチャレンジされる方はすごいなと思います。
- ・どんなに重度であっても、しっかりと関わればたくさんの事を教えてくれるところ。

### Q.2 支援中のほっこりエピソードをどーぞ。

- ・お子さんの成長がみられた時

### Q.3 こんな支援ができて良かったもどーぞ。

- ・コミュニケーションを取ることが難しいと思われる方にたいして、いろいろな感触や、遊びや活動を通して、その時の1つ1つの動作や表情等で「これってこういう意味かな」「いやなのかな、うれしいのかな」「こんな時ありますよね」と職員同士話し合えてご本人の気持ちややってほしい事など、探りながら支援できたこと。

### Q.4 前職と比べて、介護業界どうですか？

- ・前職も介護業界です。
- ・この道一筋ですが楽しいですよ。

### Q.5 これって職業病かな？って事ありますか？

- ・物事を追求する所。
- ・利用者の事をもっと知りたいという気持ちから、もっと密な関りをいつもしたいと思う事。その為の十分な時間が取れない事がストレスになる事。



いかがだったでしょうか、各事業所ごとに同じ部分や違いなどあったと思います。  
今後もいづみをよろしくお願いいたします。





## ひだまり 20周年によせて

令和5年4月、ホームヘルプひだまりは20周年を迎えました。  
人間で言えば二十歳、成人の年になります（今は18歳で成人ですが）。

20年前、数名の利用者さんから始まったひだまりですが、今では31名の在籍人数となり、日々楽しくお仕事をさせていただいております。

20年を振り返ってみますと、ひだまりイベントのボーリング&カラオケ大会や、土日のおでかけ、小さなレストランを借り切った女子会など色々思い浮かびます。また利用者さんが施設入所で遠くへ行かれたり、65歳で介護保険への移行になったりということもありました。改めて思うのは、ひだまりの20年は利用者さんお一人お一人の20年なんだなということ。利用者さん、保護者の方と共に、二人三脚、時には三人四脚となり「エッホエッホ」と掛け声をかけながら20周年を通過できました。次は40周年、ダブル成人式をめざしてがんばりますよー！

20周年記念に紅白饅頭とタイのクッキーを配布させていただきました。あゆみの会の夏祭りで毎年かついでいた「タイみこし」にちなんだケーキ屋さんに作ってもらいました。思えばこのケーキ屋さんも利用者さんとの外出中に見つけたお店です。これからも素敵な発見が沢山ありますように。

（担当：星）



20周年記念品

## 職員ひとこと



成人部に勤めて3年目となりました。  
これからも、利用者さんが元気で楽しく通所して頂けるよう、  
体の取り組みを続けていきます。

よろしくお願いします。

あゆみの家成人部 今野 寛子 3年



日々大切にしていることは、思いやりをもってお子さんと  
向き合う事です。

お子さんが今何をしたいのか、何を伝えてくれているのか、  
表情や行動を良く見て、考えてから接するように心掛けていま  
す。

ひまわりに異動して2年目に入り、より一層思いやりを持っ  
て楽しく過ごせたらと思います。これからも宜しくお願い致し  
ます。

ひまわり児童発達支援 市川 加奈子 5年



ひまわり放課後等デイサービスで看護業務を主に担当させ  
ていただいています。

利用者の皆様が元気に、心も体も健やかに通所していただ  
けるよう、日々の健康維持のお手伝いをさせていただいてい  
ます。また、保護者の方の思いに寄り添い、より良い支援が  
提供できるように心がけています。

今後も、利用者の皆様の明るい笑顔が溢れるひまわり放課  
後等デイサービスであるよう、努力してまいります。

ひまわり放課後等デイサービス 山崎 明子 2年



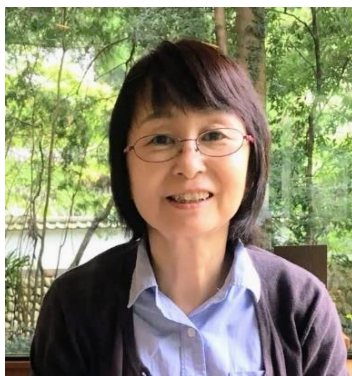
私が仕事をする上で大切にしていることは2つあります。1つめは、1日に1度は笑ってもらうことを大事にしています。冗談話や、自身が笑ってもらえるような行動をし笑って帰ってもらう事を念頭に業務をしています。2つめとしては利用者全員と挨拶を必ずする事です。短い会話でも、フロアが違う方もいるため、せめて挨拶だけでもと自身で積極的に関わっています。

ライフサポートつばさ 加藤 圭介 3年



私が支援をしている中で大切にしていることは、皆様の個性や想いに寄り添い、尊重する気持ちを忘れずに接することを心掛けるよう努めています。そして何事も一緒に楽しむことです。まだ入職して1年にも満たない中ではありますが、コミュニケーションを丁寧に行うことで、信頼関係を築きながら、安心感を持って日々過ごしていただけるよう努力していきます。今後どうぞよろしくお願い致します。

ライフサポートつばさ 大村 久恵 9ヵ月

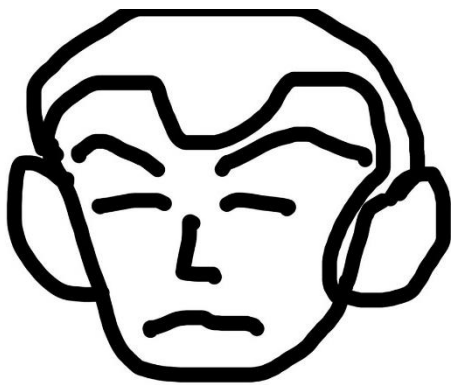


利用者様と一緒に働く仲間に対して、真摯で誠実な態度で相(あい)対するのが、私のモットーですが、これは、社会人として当然かも知れません。

それより最近良く考えるのは、日頃仕事をする時に、根っからのそそっかしさで、一生懸命やってもつい失敗してしまった時や、問題を目の前にした時の気持ちの持ち様です。以前は失敗するとガックリ落ち込みましたが、最近  
は「失敗をいつまでもクヨクヨ引きずるのをやめよう！それより、問題を抱えた時にどう  
いう方法で切り抜けるのか、試行錯誤すれば、必ずどこかに解決法があるもんだ！」と遅  
ればせながら気づいた次第です。数時間、数日間考えて色々ジタバタあれやこれややって  
いると必ず打開できるものなんですね。

又、仕事は完璧を目指さなくても良い、完了を目指そうと考えているこの頃です。

あゆみの家幼児部 小出 佳代 17年



私が大事にしているものは「凡事徹底」の言葉です。目の前にある仕事をどんな時も、いつも通り遂行する事が誠意に成り、誠意の積み重ねが信頼に成る。信頼は、人と人を繋ぐ一番大切なものだと思うからです。

信頼を得るには時間が掛かり、失くすのは簡単です。利用者様・保護者様・職場仲間から信頼される人間でありたいです。

社会人である限り、「凡事徹底」をずっと大事にしていきたいと考えています。

ホームヘルプひだまり 北本 大志朗 10年



## 編集後記

皆様、今回のいずみニュースレターいかがだったでしょうか、新たな試みで各事業所にアンケートをしてみました。それぞれの事業所の雰囲気を感じて頂けたと思います。早いものでゴールデンウィークも終わり、もう来月、六月で今年も半年が過ぎようとしています。今年度はグループホームの開所など新たな事業がスタート致します。今後もいずみをよろしくお願い致します。

担当 豊野

発行元 社会福祉法人いずみ

住所 東京都東村山市富士見町3-3-4

TEL 042-394-1868



※記事内の写真についてはご本人、ご家族のご了承を得たうえで掲載しております。